



市議会だより

かかみがはら

発行
各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69
電話058-383-2001

編集
市議会だより編集委員会



子どもの誕生を祝う植樹祭
(生命の森)

9月定例会

もくじ

主な議案説明

2

意見書

3

審議結果

4

友好都市市議会交流訪問

5

市政を問う 一般質問

地方交付税不交付団体へ

6

補償金なし繰り上げ償還

7

東海中央病院改築計画

8

古紙回収

9

市民の声、議会素描

10

平成18年度水道事業決算を認定

命の水マスタープラン策定など

平成19年第5回各務原市議会定例会(9月定例会)を9月10日から10月1日の22日間の会期で開催しました。

今期定例会に市長から提出された議案は、平成18年度水道事業会計決算をはじめとする15議案で、いずれも原案のとおり認定、可決、同意しました。

なお、本会議最終日に市長から平成19年度一般会計補正予算と議員から「割賦販売法の抜本的改正に関する意見書」などが提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

第5回定例会に市長から提出された議案は、

- 決算の認定 1件
- 予算の補正 4件
- 人事の案件 2件
- 条例の改正 6件
- 町の区域及び名称の変更 2件
- 市道路線の認定 1件

の合計16案件です。

主な議案内容は、次のとおりです。

を主体として推進し、市民の快適な日常生活を支えるため、安全な生活用水の安定供給に努めました。

改良事業では、川島地区の河田水源地と笠田水源地との間に連絡バルブを設置し、バックアップ

水道事業会計決算

△概況▽

18年度は、老朽設備更新事業や鉛給水管取替事業



命の水マスタープラン

体制を強化したほか、給水区域全域の将来的な水運用計画と施設更新計画を内容とした上水道施設整備計画「命の水マスタープラン」の作成、下水道整備事業等の支障移転に伴う配水管整備事業など、総額10億4,001万8,173円を執行しました。

△経営状況▽

損益計算は、総収益26億4,517万3,294円、総費用23億1,204万8,423円で、差し引き3億4,396万4,871円の純利益となりました。これに、前年度繰

越利益剰余金2,611万8,054円を加えた当年度未処分利益剰余金は3億7,008万2,925円となりました。

このうち、3億5,000万円を減債積立金に積み立てました。

資本的収支は、収入額4億1,400万4,736円、支出額19億751万32円で、不足する額14億9,350万5,296円は、減債積立金、損益勘定留保資金などで補っています。

19年度一般会計補正予算

19年度一般会計補正予算(第3号)

医療制度改革に伴い特定健診が開始されることに対応するためのシステム改修費をはじめ、障害者自立支援法に係る自立支援給付費、市内私立保育所の耐震補強事業に対する助成費、道路新設改良費など、当面の行政需要に対応するため、歳入

歳出予算、債務負担行為並びに地方債の補正を行うものです。

○歳入の主なもの

・国庫支出金

6,481万8千円

・県支出金

3,628万2千円

・繰越金

4,382万1千円

・市債

1億1,950万円

○歳出の主なもの

・情報化推進費

1,290万円

・障害者自立支援事業費

5,460万4千円

・私立保育所施設整備費

3,750万円

・市単道路改良費

7,066万6千円

などを計上した結果、一般会計の予算規模は、

2億6,844万4千円

を追加し、補正後の予算

総額は398億6,557万6千円となります。

債務負担行為の補正

は、学校給食センター業務委託事業ほか1件を追加及び変更するものです。

地方債の補正は、事業

費の変更及び確定などにより、権現山環境福祉整備事業債ほか6件の変更をするものです。



建設が進む学校給食センター

東海中央病院改築へ 30億円支援

19年度一般会計補正予算
(第4号)

市民に安全で快適な療養環境と高度医療サービスの提供を目的に、公立学校共済組合東海中央病院が実施する改築事業に助成するため、東海中央病院改築助成事業を債務負担行為に追加するものです。内容は、20年度から31年度までの間で、総額30億円を支援金として助成するものです。

割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

高齢者に対する寝具・リフォーム工事など統発する販売被害や呉服等の展示会商法など、クレジット悪質商法による被害が全国で多発し、ついには、多額のクレジット債務に負われた消費者が自らの命を絶つ深刻なケースすら発生している。

こうした被害が発生する要因として、クレジットは、代金回収と商品の引渡しを分化したシステムであり、販売事業者が消費者の資力等を無視した勧誘を行うなどの構造的危険性を有しているにも関わらず、現行割賦販売法が被害防止に向けた法改正を行ってこなかったこと等が挙げられる。

よって、国におかれては、こうしたクレジット悪質商法被害の防止と消費者の被害回復、さらには、消費者にとって安心・安全なクレジット社会を築くため、割賦販売法を次のとおり改正されるよう強く要請する。

記

1. 被害の集中する契約書型クレジットについては、クレジットが違法な取引に利用された場合、クレジット事業者は、既払金返還を含む無過失共同責任を負うものとする。
2. 契約書型及びカード式も含め、クレジット事業者は、違法な取引にクレジットが利用され、顧客に被害が発生することを防ぐための調査等、不適正な与信を防止する義務を負うものとする。
3. クレジット事業者は、過剰与信を防止するための調査義務等を明記し、さらに過剰与信防止義務違反については、民事効を認める等、同義務が実効性のあるものとする。
4. 契約書型クレジットについて、カード式同様登録制度を導入し、かつ契約書面交付義務を明記すること。
5. 原則として、指定商品(権利・役務)制及び割賦要件を廃止し、支障のある取引については、ネガティブリストにより対応するものとする。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年10月1日

岐阜県各務原市議会

衆・参両議院議長
内閣総理大臣
法務大臣
経済産業大臣 宛

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員廣瀬悟道氏の任期が9月30日に満了するため、再び同氏を選任しようとするものです。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員村木眞弓氏の任期が12月31日に満了するため、再び同氏をその候補者に推薦しようとするものです。

議員派遣

全国市議会議長会主催の海外都市行政視察に参加するものです。

目的 オーストラリア・

ニュージーランド諸都市

の議会制度のあり方、高

齢者福祉、有機廃棄物の

再利用、中心市街地活性

化に関する調査

期間 10月24日から11月

2日までの10日間

派遣議員 川島勝弘議員

審議結果（9月定例会）

- 18年度各務原市水道事業会計決算の認定・・・・・・・・・・ 原案認定・賛成多数
- 19年度各務原市一般会計補正予算（第3号）・・・・・・・・・・ 原案可決・賛成多数
- 19年度各務原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）・・ 原案可決・全会一致
- 19年度各務原市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）・・・・ 原案可決・全会一致
- 固定資産評価審査委員会委員の選任・・・・・・・・・・ 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦・・・・・・・・・・ 原案同意・全会一致
- 政治倫理の確立のための各務原市長の資産等の公開に関する条例
の一部を改正する条例・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 各務原市職員の育児休業等に関する条例及び各務原市一般職の任
期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 各務原市小口融資条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 各務原市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 各務原市都市計画法施行条例の一部を改正する条例・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 各務原市火災予防条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 町の区域及び名称の変更（テクノプラザ地区）・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 町の区域及び名称の変更（川島河田町地区）・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 市道路線の認定（市道各543号線ほか1路線）・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 桜丘中学校のエアコン設置工事に関する請願・・・・・・・・・・[※] 趣旨採択・全会一致
- 19年度各務原市一般会計補正予算（第4号）・・・・・・・・・・ 原案可決・賛成多数
- 割賦販売法の抜本的改正に関する意見書・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 議員派遣の件（オーストラリア・ニュージーランド都市行政視察）・・ 原案可決・賛成多数

※ 趣旨採択とは……

請願に対する議会の意思決定は、採択か不採択かの2種類しかありません。しかし、願意について十分理解できる部分があるが、市の財政事情などから当分の間は願意を実現することが不可能である場合などに「趣旨には賛成である」（趣旨採択）という意味の議決の方法があります。

友好都市敦賀市議会 が交流訪問

平成元年に、福井県敦賀市と各務原市が「友好都市協定」を締結したのを期に、両市議会においても議員の交流を図っています。

10月4日から5日までの2日間、敦賀市議会議員ら28名が各務原市を訪れ、議会運営・議会活動などの意見交流会、講演会などを実施しました。

【岐阜基地を視察】

福井正明岐阜基地司令による「我が国の周辺情勢と航空防衛」と題した講演会の後、航空自衛隊



講演会

岐阜基地を訪れ、航空機事故に備えた消防設備などを視察しました。

【瞑想の森などを視察】

全国各地から視察者の絶えない瞑想の森や、先端技術産業の拠点であるVRテクノプラザを視察しました。

【意見交流会】

敦賀市議会議員の皆さんと政策課題などについて意見交流会を行いました。

◎まもなく、交流が始まり20年になる。お互いに高速道路のインターチェンジを有し約1時間で結ばれるなど、交流の絆がより強いものになっています。

◎行政主催事業のほか、文化・スポーツ交流など市民レベルの交流も定着してきており、毎年海浴などに訪れる各務原市民の方も多く、市民にとっても喜ばれています。

◎近く産業農業祭が開催されるが、毎年好評をいただいている敦賀市の鮮魚コーナーの充実を図っていきたい。

姉妹都市韓国春川市議団 が交流訪問

10月22日から25日までの4日間、韓国春川市の市議会議員ら6名が各務原市を訪れ、市内施設などの視察及び意見交換会を行いました。

【公園を視察】

アクア・トトぎふを有する河川環境楽園をはじめ、韓国ブームの象徴でもある冬ソナストリートや自然遺産の森などの公園を視察しました。

【産業施設視察】

カイゼン運動のモデルともなった岐阜車体工業(株)や、自然音楽を活用した



意見交換会



学びの森周辺を視察

ユニークな酒蔵で有名な小町酒造(株)を視察しました。

【意見交換会】

春川市議会議員から各務原市の老人福祉、ごみ処理、監査制度、議会運営などについて質問がありました。

韓国でも、高齢化やごみ処理について行政課題となっており、地域で支えあう近隣ケアグループ組織や日本独自の介護保険制度、ごみの分別収集、焼却施設などを紹介しました。また、議会運営では、市独自で議員定数、議員報酬を決めていることや、議案の提案から議決までの議事運営などについて説明しました。

他市からの視察状況

- 千葉県柏市議会
- 水と緑の回廊計画
- 長野県上田市議会
- 独立都市自治体（行財政改革）
- 岐阜県大垣市議会
- 各務原キムチ
- 岡山県浅口市議会
- 旗本徳山陣屋公園
- 東播・淡路市議会議長会事務局長会
- カイゼン運動・広報活動・議会運営・航空宇宙科学博物館
- 岡山県瀬戸内市議会
- 火葬場
- 宮城県石巻市議会
- デスティネーションキャンペーン・歴史民俗資料館・埋蔵文化財調査センター
- 佐賀県伊万里市議会
- 行財政改革（カイゼン運動）
- 埼玉県蓮田市議会
- 景観条例
- 愛知県半田市議会
- コミュニティバス
- 青森県青森市議会
- 水と緑の回廊計画
- 静岡県焼津市議会
- 市町村合併
- 岩手県奥州市議会
- 家族地域絆プロジェクト
- 宮城県多賀城市議会
- 水と緑の回廊計画（瞑想の森公園含む）
- 東京都北区議会
- 高齢者活用子育て支援事業

市政を問う 一般質問

9月25日、26日の2日間、市政に対する一般質問を行いました。質問をした議員は次のとおりです。(発言順)
浅野健司、尾関光政、今尾泰造、三和由紀、吉岡健、高島貴美子、永治明子、阿部靖弘、川瀬勝秀、波多野こうめ、横山富士雄
質問および市長以下関係部長の答弁は次のとおりです。

地方交付税不交付団体へ

独立都市自治体をめざし、自立へ努力

▼問 市政施行以来、初めて不交付団体となったが、市長はどう受け止めているか。

▼答 不交付団体とは、市の財政の健全度を表しているものである。市民・市内事業者の努力による市税の好調や産業基盤の充実、強力に進めて

きた行財政改革によるものであり、市民と行政が共に知恵を出し合いながら協働で市政運営に努力してきた結果である。

今後、国に頼ることなく自立しているという独立都市自治体を目指し、さらなる自立へ努力をしていく。

▼問 市税や利用料金などへの影響はないか。

▼答 不交付団体になったことで、市民への負担が生じることはない。

▼問 これからも不交付団体を維持していくことが大切だと考えるが、今後の財政運営は。

▼答 分権型社会の旗手として、知と活力にあふれ



航空機産業（川崎重工(株)岐阜工場）

地方分権

た各務原市が実現するよう自信と自覚を持った都市経営にまい進していく。

▼問 今後の行政改革の方針は。

▼答 新各務原市行財政構造改革大綱に基づき、行財政改革やカイゼン運動を積極的に展開しながら、職員一人ひとりが不交付団体としての自信と自覚を持ち、21世紀型市役所の実現に向けてまい進していく。

▼問 税源移譲など三位一体改革も一区切りとなったが、地方分権の進展状況をどう見ているか。

▼答 3兆円規模の税源移譲は評価できるが、その間に地方交付税も大きく削減されており、不十分さが残っている。

今後、国では、22年3月に新分権一括法案の国会提出をめざしている。

真の地方分権社会は、住民に身近な基礎的自治体である市町村が自己決定と自己責任に基づき、住民ニーズに対応することであり、今以上の権限と財源を一体的に移譲されることを望んでいる。

特に分権が受けられる体力、即ちマンパワーが何より大切であり、我が市はすでにその体力があるものと考えている。

▼問 地方が自立していくために望むべき税のあり方をどう考えているか。

▼答 全国市長会の重点要望として、真の地方分権を実現するため、「当面、国税対地方税の税源配分5対5」と要望している。市も同様の認識である。

市長の 海外視察

▼問 8月27日から9月6日に実施された市長の海外視察の目的と成果は。

▼答 イギリスのダンディー市では、GDCN総会が行われ、会員各都市のIT先端技術の事例発表や学者・企業を交えた提案や議論を行った。

スウェーデンのストックホルムでは、「高福祉・高負担」「産業は福祉の糧」といわれる「スウェーデンモデル」の視点と経



GDCN総会

济動向の調査や環境と都市景観に配慮した再開発地区を視察した。

ロシアのサンクトペテルブルクでは、共同記者会見を行い、「グレート・ナゴヤ・インシアティブ」の紹介と経済協力への展望を述べ、さらに、歴史的建造物の保全を調査した。

▼問 市長の海外視察は必要性を感じないが、どう考えているのか。

▼答 都市自治体の長として、国内では例を見ない事業もあり、世界に目を向けることで、最新の情報を得ることができ、極めて重要であり、市政運営において、施策の随所に生かしている。

補償金なし 繰り上げ償還

▼問 過去に借り入れた金利の高い公的資金の繰り上げ償還が補償金なしで可能となったが、その

対応は。

また、対象となる地方債残高は。

▼答 公債費負担の解消は、喫緊の課題であり、積極的に対応していく。

国の要綱などによると、19年度に繰り上げ償還可能な公的資金は、財政融資資金と公営企業金融公庫資金で金利7%以上のものとなっている。

対象となる地方債残高は、財政融資資金が約5億5,360万円、公営公庫資金が約2億3,290万円で、合計約7億8,640万円となる。

▼問 繰り上げ償還による財源効果は。

▼答 20年3月に償還すると、財源効果は約1億3,800万円と試算している。

▼問 全国都市再生モデル調査の目的と内容は。

▼答 木曽川の賑わいの創出と防災・教育などの川の活用と街中との連携に向けた拠点づくりが目的である。木曽川沿いの既存の施設を利用した

「水辺交流サロン」の仮設実験を行い、複合的な交流拠点の実現に向けた調査を行う。

▼問 調査結果をどのように役立てるのか。

▼答 木曽川を生かした「川の回廊」計画に生かすことができる。

学校給食 センター

▼問 新しい学校給食センターの考え方は。

▼答 安全面では、学校給食衛生管理の基準に即した床を濡らさないドレイシステム方式を採用し、最新の衛生管理システムを導入したもので、調理能力は8,000食規模となる。

また、食器は高強度磁器に変更、設備機器類などを充実し、調理作業も見学できる通路を設ける。

▼問 調理業務の民間委託について問題はないか。

また、偽装請負にあたらないか。

▼答 民間委託は、すでに蘇原中や鶴一小で実施しており、子どもや保護者の反応もよく、問題はない。

判例も出ており、偽装請負にはあたらない。

▼問 民間委託に伴い、職員、パート職員などの処遇はどうなるのか。

▼答 正規職員は、他の職場を確保し、パート職員は雇い止めとする。

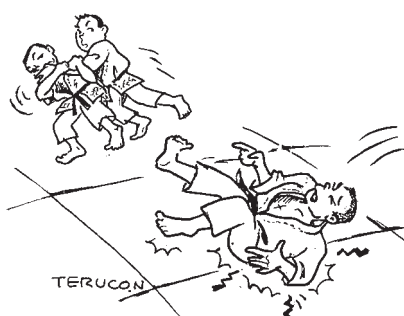
▼問 学校給食の食材の地産地消の考えは。

▼答 食の安全、食育への関心が高まる中、地元食材を少しでも多く利用するように努め、農政課や農協と協議をしながら献立に反映していく。

総合体育館の 充実を

▼問 柔道場の畳が硬いのではないか。

▼答 昭和58年の開館当時のものであり、最近では、けが防止のため柔らかい畳が主流となっていることから、来年度中に新しい畳に更新する。



▼問 トレーニングルーム機器の増設は。

▼答 すでに既存の器具で飽和状態であり、今後、機器全体を見直し、ニーズにあった機器等の充実を図っていく。

▼問 市民プールのトレーニングルームの利用時間を延長できないか。

▼答 現在の指定管理の契約が20年度までとなっており、新たに指定管理の契約を行う時点で検討する。

東海中央病院改築計画

支援金額30億円の根拠は

▼問 改築計画の話合いの経緯と内容は。

▽答 8月23日に病院側から新たな改築案が正式に示され、翌日、担当部

課で改築案の内容を精査した結果、市からの要望は全面的に取り込んでいると判断し、9月7日の三役・担当部課長による政策会議において支援総額・支払方法・協定書(案)の内容、議会の提案スケジュールについて検討し、

今議会に30億円の支援と12年間の債務負担行為の補正予算を追加提案することとした。

▼問 要望額40億円に対し、支援金30億円の根拠は。

▽答 ①医師不足・看護師不足など医療を取り巻く急激な変化の中で、現状を維持しながら、より高度な急性期病院※として生き残るために必要な医療施設設備が整備されること。②市からの要望

を全面的に取り込んでいること。③地震災害などの発生時に救急医療・施設の確保ができること。

④他の公的病院への支援例などを総合的に判断して、40億円の要望に対し30億円(実質効果33億円)の支援を決定した。

▼問 実質効果33億円の支援とはどういうことか。

▽答 市が竣工時に10億円をまとめて支払うことで、病院側が借入金の一部繰上げ返済に充てることにより、長期借入金の利息が約3億円程度軽減になると試算したものである。

▼問 夜間における小児科医の充実は強く要望すべきであるが、休日及び夜間診察の医療体制は。

▽答 全国的な医師不足の中、複数の常勤医師の確保が特定の診療科で非常に困難な状況にある。

今後とも、急性期医療の充実を図るため、医師の確保を強く要望していく。

▼問 今年限りで産婦人科を閉鎖するらしいとの

うわさがあるがどうか。

▽答 産婦人科の問題については、正式に聞いていない。

▼問 東海中央病院が市民病院的役割を果たすために求められるものは。

▽答 高度な急性期病院として位置づけることや、

地元の開業医との病診連携の一層の推進を図っていくことだと考える。

▼問 なぜ、各年度間で支援額が異なるのか。

▽答 協定書(案)では、20年度と21年度に1億円、竣工時の22年度に10億円、23年度から毎年2億円ずつ9年間支援金を支払う。

これは、病院側と市側でお互いに安定した財政運営をするため、病院側は竣工時にまとまった資金を得ることにより、利息が軽減され経営が安定し、市民に対する医療サービスの向上につながる。

※急性期病院とは：

おもに病気のなり始めで、症状の激しい時期の医療を行う病院。

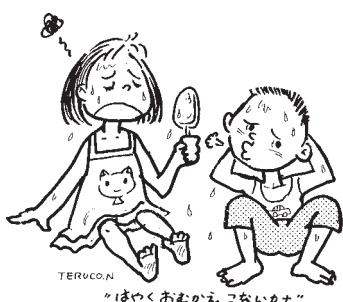
ると考えている。

市側は竣工時に10億円支払うことにより、残りの期間は毎年2億円となり、支援する期間が約5年間短くなり中長期的に財政見通しが立てやすいメリットがある。

学童保育

▼問 学童保育室の暑さ対策として、エアコンの効く部屋を利用することだったが、今年の暑さ対策の状況は。

▽答 学童保育室には、壁付扇風機や冷蔵庫を設



置しており、熱中症対策も含めた指導員研修会を実施している。

さらに今夏は、教育委員会と各小学校の理解と協力を得て、エアコンの効く図書館を利用し読書や昼寝で身体を休める工夫をしてきた。

しかし、昨今の温暖化傾向や家庭環境の変化などに合わせ、低学年であることも考慮し、学童保育室へのエアコン設置を検討していく。

古紙回収

▼問 集団回収だけでは回数が少なく、可燃ごみとして出されるケースもあり、紙類の分別回収の強化が図られるとのことだが、その方法は。

▽答 可燃ごみのうち、約4割が紙ごみである。紙ごみの再資源化がごみ減量化の優先的課題であ

ると考えている。

10月から、既存の民間回収協力店に加え、小学校5校（那一、那二、鵜三、川島、緑苑）と稲羽市民サービスセンターに回収庫やボックスを設置し回収ステーションを開設するなど、古紙回収の受け皿の整備を進めている。

▼問 資源としての古紙回収をどのように進めていくのか。

▽答 集団回収が少ない8月と3月に、小中学校12カ所のほかに臨時の古紙回収ステーションを開設し、行政回収を計画している。この結果を検証し、収集経費、収集方法などの費用対効果等を十分検討していく必要があると考えている。

今後、市民意識の向上を図りつつ、各種団体の資源集団回収の奨励と、民間も含めた身近な持込み可能な回収ステーションの整備を進めていく。

▼問 高齢者の生活は、老年者控除などの廃止に

よる増税、介護保険料の引き上げなど耐え難いものになっているが、介護保険料の引き下げの考えは。

▽答 介護保険事業は3年単位で設定しており、現時点で保険料の変更は考えていない。

公園と街路樹

▼問 今夏、学びの森の修景池でアオコが大発生した。

公園内の人工池やせせらぎは、その不自然さから環境リスクが大きいが、清掃などの維持管理の考え方は。

▽答 水辺空間は来園者の心を癒すものとして必要な施設である。

学びの森は地下水を循環させる方法でコストを削減しながら、1名の公園管理人を常駐配置しているが、今後、池の清掃

作業人員など、適正に配置していく。

▼問 「水と緑」事業は市民生活との日常的な関わりで真価が問われている。特に、街路樹は沿線の市民生活や商店などの営業に支障はないか。

また、せん定や落ち葉の処理は。

▽答 街路樹の植栽は、連続性ある均整の美を創り出すことを基本とし、沿線の方々と打ち合わせ支障にならないよう配慮している。

また、公園の落ち葉については、今年度より堆肥化を進め有効利用を図っている。



落ち葉の堆肥化作業（須衛天狗谷）

橋の強度

▼問 米国ミシシッピ川の橋が突然崩壊、日本でも国道23号線木曽川大橋が腐食で斜材断裂が見つかったが、同じトラス構造の川島大橋、河田橋、渡橋は大丈夫なのか。

▽答 3橋とも県が管理する橋梁であり、14年に定期点検調査が実施され、定期的にパトロールによる点検が行われている。3橋とも補強補修がなされており心配はない。



トラス構造の河田橋

『みんなで育てよう各務原っ子』

私は、生まれも育ちも各務原の各務原っ子です。私の生まれ育った各務原市は、ずいぶん変わりました。住宅団地、工業団地の造成や道路網の整備などで便利になり、市内には大型ショッピングセンターが、たくさん進出して、生活も便利になりました。

今、私は小学校のPTA会長をやらせていただいております。

昔は、三世代同居が当たり前でしたが、核家族へ移行し、共働きの家庭が多くなり、生活の価値観も多様化してきました。子どもは夜型・少子化の中で手をかけられ、自ら行動する意欲や積極性に乏しく、また、テレビゲーム・パソコンなど、受け身のなひとり遊びをする子が増え、社会性の不足や生活リズムの乱れに

より、自立できない無力な子が増えていることを心配しています。

振り返ってみますと、私たちが子どものころは、学校が終わるとランドセルを玄関に投げ出し、近所の悪ガキとその



下中屋町
小島和彦さん

弟、妹とお寺やお宮で遊んだり、川で暗くなるまでザリガニ捕り遊びをしていたものでした。また、家の手伝いも、今の子どもたちだったら「危ないからやるな」と言われるような仕事まで任されていた。こうした遊びの体験の中で、自然に豊かな心、他者を思いやる心、我慢する心や美しいものに感動する心が

市議会だより編集委員会研修報告

期 日 8月29日～30日

研修先 山口県周南市・防府市

市議会だよりの内容充実のため、両市議会で研修を行いました。

今後も、「市民が知りたい議会の様子は何か」をテーマに、見やすく、わかりやすい紙面になるよう、知恵を出し合いながら市民に身近な市議会だよりの編集をすすめていきます。



防府市議会議員との意見交換

次の定例会は、11月29日
開会予定です。

あなたも市議会を傍聴しませんか。

会議当日、午前9時30分から市役所6階
で受付しています。

詳しくは議会事務局総務課へ

これからも、子どもたちが、健やかに元気に暮らせるまちでありますようお願いします。

議会素描

▼我々の生活に密着した案件を多く審議したこの9月議会。より住み良い街に一步前進か？

▼各務原市が不交付団体に移行した。更なる努力で、議会と執行部が両輪となり、行財政の健全性を堅持していきたい。

▼不交付団体になったことで、行財政改革がうまくいっているという自信が答弁にも現れていた。

▼東海中央病院改築計画が、ようやく本格始動へ。市からの支援金を審議、市民病院の役割を期待。

▼10月は、全国各地から12市議会が行政視察に来庁。各務原市政を本にまちづくり議論白熱、熱意はどの市も同じ。

市議会だより編集委員会

◎横山富士雄
◎梅田利昭

吉岡 健、尾関光政、
永治明子、三和由紀

(◎委員長 ◎副委員長)